

全国中学生人権 作文コンテスト

只見中から生徒4人が受賞



▲受賞した皆さん

「第43回全国中学生人権作文コンテスト」において、只見中学校の生徒4人が優秀作品に選ばれた他、多くの生徒がコンクールに応募したことから人権思想の普及高揚に繋がるとして只見中学校に感謝状が贈られました。

○受賞生徒

若松協議会子ども人権委員会委員長賞

鈴木 雛乃（3年）

若松協議会奨励賞 横田 結心（2年）

菅家 一晟（1年）

長谷部七歌（1年）

魚沼市の小中学生が只見町と交流

魚沼市教育振興会「只見町交流事業」実施

魚沼市教育振興会は、JR只見線を活用し魚沼市内の小中学生が只見町と交流する「只見町交流事業」を12月26日に実施し、小中学生10人と引率の先生3人が只見町を訪問しました。

初めに町教育委員会との懇談会が行われ、生徒たちから只見町に対する印象などが伝えられた他、只見町との交流の記念品の目録が贈られました。

懇談会後は、奥会津学習センターや只見高校、只見町インフォメーションセンターを訪問し、只見町との交流を深めたり、両市町の良さを確認したりしました。



▲記念品の目録を手渡す生徒



▲菅家カツヨさんご家族で記念撮影

おめでとうございます

菅家カツヨさん 百歳賀寿

菅家カツヨさん（黒谷）が百歳を迎えられ、百歳高齢者知事賀寿の伝達式が1月8日に自宅で行われました。

伝達式では賀寿状や木杯といった記念品などの他、ご家族から花束が贈られました。

菅家カツヨさんは、今もテレビを見たり新聞を読んだりしているそうで、長生きの秘訣は「のんびりとくらすこと、嫌いなものなく何でも食べること」と話しました。これからも長生きしてください。

スキー場で新年を楽しむ

只見スキー場新年歓迎イベント



▲雪中宝ひろいに参加した子どもたち

只見スキー場は、1月1日、2日に新年歓迎イベントを開催しました。

1日に行われた「雪中宝ひろい」では、イベントを楽しみにしていた親子など約80人が参加しました。

「雪中宝ひろい」は、賞品と引き換えられるくじが入ったケースを雪の中から探し出すもので、スタートの合図とともに参加者が雪の中に駆け出しました。参加者らは深い雪に苦戦しながらも、笑顔でお宝（ケース）を探しました。

また、「おしるこの振る舞い」も行われ、参加者や来場者は身も心も温まる元旦を過ごしました。

まちづくりに 次世代の視点を

只見高校 只見町に政策提言

只見高校3年生による政策提言の発表が1月14日に只見公民館で行われ、町職員や町議会議員、関係者らに向けて、提言内容の説明をしました。

生徒たちは、只見高校で行われたグループワークで町職員から町の取組みや町が抱える問題、課題について話を聞き、高校生の視点からどのように対応、解決するかを考え、「総合的な探究の時間」の集大成として、第八次振興計画策定に向けた提言を行いました。

生徒からは、雪を活用したデータセンターや、かじご焼きによる広葉樹の活用などが挙げられました。



▲提言内容を説明する生徒たち



▲上手に飾り付けをしました

五穀豊穡、無病息災を祈る

かるがもクラブ

団子さしを行いました

今年度8回目のかるがもクラブは、1月10日に行われ、3組の親子が参加しました。

親子の触れ合い遊びでスキンシップをとった後、会津地方の伝統行事である「団子さし」が行われ、民生児童委員の皆さんに準備していただいたお団子や飾りを、皆で仲良くミズノキにさしました。

郷土の味を伝える

食生活改善推進員会「ニシン漬け」を行う



▲大きな容器にニシンを漬け込む様子

只見町食生活改善推進員会は、1月6日に「ニシン漬け」の漬け込みを行いました。今回は約40キロのニシンを3時間かけて調理しました。

「ニシン漬け」は、一説によると新鮮な魚を手に入れにくい会津地域でも魚料理を食べられるように、麴や山椒などでニシンを1ヶ月程度漬け込み、保存性を高めるために作られたものと言われています。

今回漬け込んだ「ニシン漬け」は、只見ふるさとの雪まつり会場に並べられ、来場された方は郷土の味を楽しみました。



▲漬け込み準備をする食生活改善推進員会の皆さん



楽しく健康に長生きする

ブナりんポイント50ポイント達成

渡部シヅコさん、山村和子さん、吉津敬子さんが「ブナりん健康ポイント制度」で50ポイントを達成しました。

「ブナりん健康ポイント制度」は介護予防教室や健康講座、各種検診、サロンなどに参加することでポイントをもらうことができ、ポイント数に応じて健康グッズや只見町商品券などと交換できる仕組みとなっています。



▲ブナりんポイント50ポイントを達成した渡部シヅコさん、山村和子さん、吉津敬子さん（左から）

郷土料理の美味しさを感じる

只見中「郷土料理教室」開催



▲▼ 笹巻の包み方を教わる生徒たち



只見町食生活改善推進員を講師に、只見中学校1年生を対象とした「郷土料理教室」が開かれ、「笹巻」と「ざく煮」の調理実習を行いました。

現在では町内に住んでいても郷土料理を作る機会や食べる機会が少なくなっており、生徒たちははじめて作る郷土料理に試行錯誤を重ね、楽しみながら調理を行いました。

生徒たちは調理した郷土料理を実食し、おいしさを噛みしめました。



▲ 出来上がった「ざく煮」の味を確かめる生徒たち

次世代へつながる農業への取り組みが評価

新国農園「全国優良経営体表彰」受賞

農林水産省と全国担い手育成総合支援協議会が共催する「令和6年度全国優良経営体表彰」において、株式会社新国農園が「【経営改善部門】全国担い手育成総合支援協議会会長賞」を受賞しました。

今回の表彰では、豪雪地帯の只見町で通年雇用を行う上で大きな課題であった冬期間の仕事を確保するために米の製粉及び加工に取り組んでいること、地域の小中学校と高校の農業体験の受け入れ、農業理解を深める活動を行っていることなどが評価されました。

代表取締役の新國真也さんは「雇用創出しながら、町民の一員として町の発展の一助を担っていきたい」と今後に向けた意気込みを話しました。



▲ 役場へ受賞報告に訪れた新國夫妻